

レジオネラ症について

半田保健所生活環境安全課

「VOICEVOX:雀松朱司」

レジオネラ症とは・・・

土の中、河川、湖沼など自然界に広く生息しているレジオネラ属菌という細菌による感染症の1つ。

ヒトーヒト感染はない。

多臓器不全を起こして死に至る場合がある

- 病型：

- ▶ 肺炎型・・・レジオネラ肺炎

高熱、咳、頭痛、筋肉痛、呼吸困難など

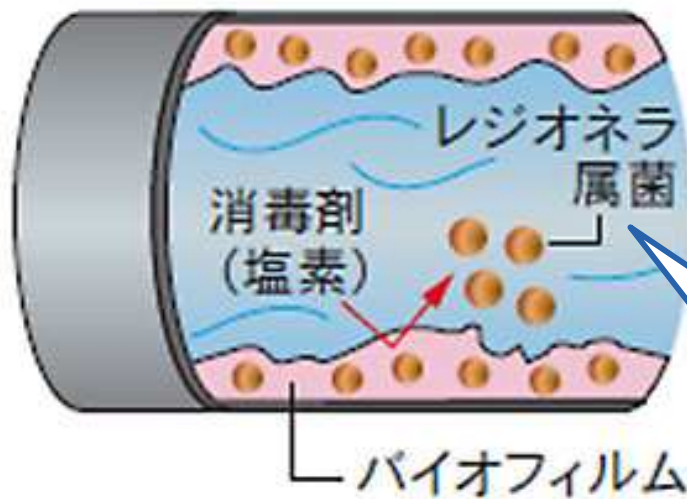
- ▶ 非肺炎型・・・ポンティアック熱

発熱、頭痛、倦怠感など

- 易感染者：

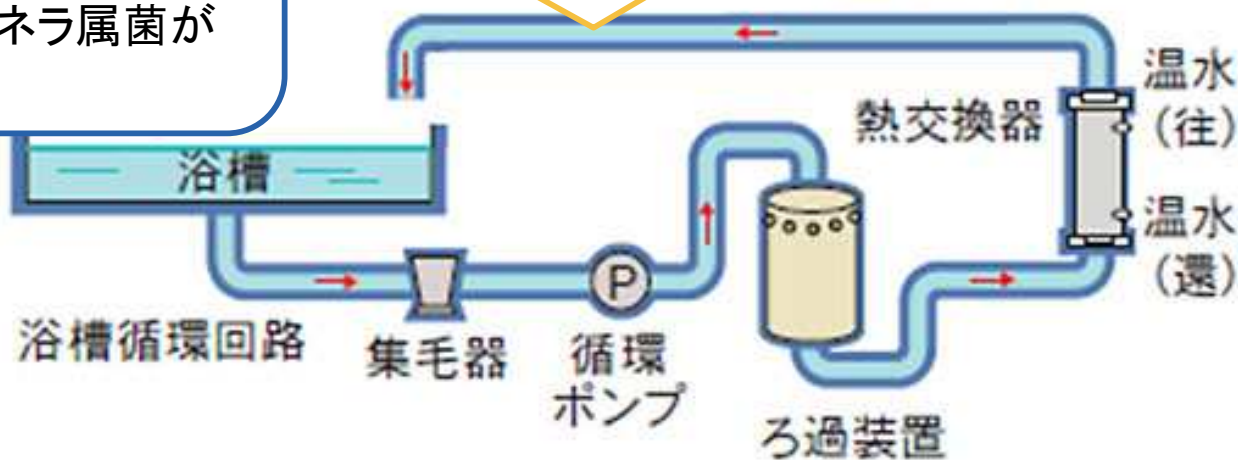
- ▶ 抵抗力の弱いヒト(高齢者や幼児など)は特に重症化しやすい

レジオネラ属菌の感染源



微生物が作り出した粘液性の物質で形成されている
バイオフィルムに生息しているアメーバ内でレジオネラ属菌が繁殖する

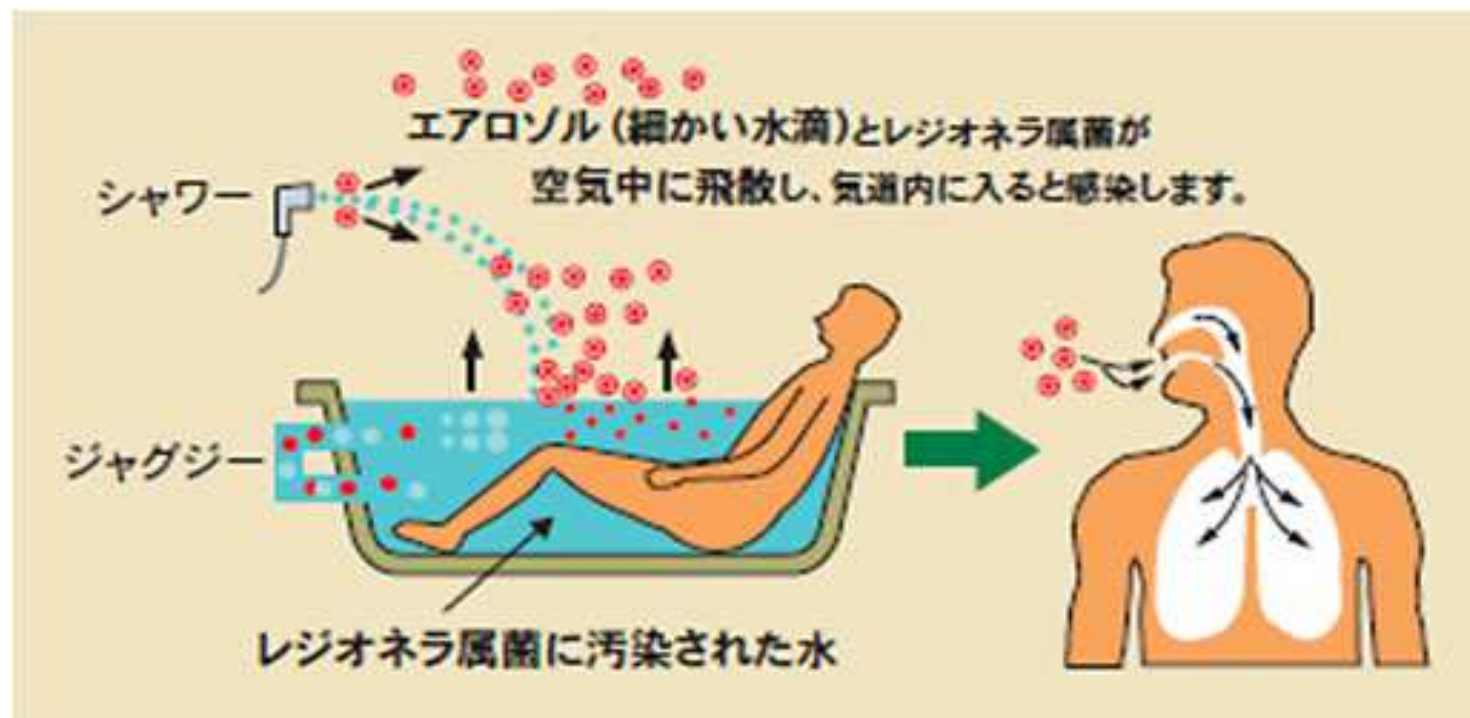
アメーバ内で繁殖したレジオネラ属菌が飛び出し、浴槽水を汚染する



レジオネラ属菌の主な感染経路

水系感染

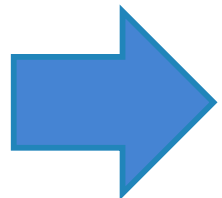
- レジオネラ属菌に汚染された水が、振動を加えられたり、かき回されたりすることによって、菌を含んだ細かい水滴（エアロゾル）ができる。
- レジオネラ属菌を含んだエアロゾルを吸入することによって感染する。



採暖槽・気泡槽の管理は適切に



- 細菌繁殖しやすい環境（37～41℃）
- エアロゾル大量発生



感染リスクが非常に高い。

レジオネラ防止対策

1. 日常の適切な清掃・消毒
2. 管理記録
3. 水質検査
4. レジオネラ症発生リスクを低減化するための対策

- ・槽内の清掃、消毒
- ・高濃度塩素消毒剤による配管内の消毒

半田保健所 試験検査課でレジオネラ検査も行っています。
(予約制)